

東日本大震災 被災地支援アクション

企画特集

14

「役立ちたい」

心つなぎ

同実行委員会は環境や防災などをテーマに掲げた商店街ネットワーク。各地で全国リサイクル商店街サミットも開き、05年には南三陸町の志津川地域(当時は志津川町)が会場となった。その時

着した。

乳幼児と母親は同町のホテルや旅館に最長1カ月無料で宿泊できる。29日は、3組の親子が宮城県南三陸町や福島県二本

松市を出て、湯沢町に到着した。

第一弾は100組の母子を対象にした「赤ちゃん一時避難プロジェクト」。

新潟県湯沢町が受け入れを表明し、希望する

「震災疎開」の支援を開始した。

全国各地の店主らで

結成するNPO法人「全

国商店街まちづくり実行

委員会」では、被災地の

子どもたちをケアする

「震災疎開」の支援を開

始した。

第一弾は100組の母子

を対象にした「赤ちゃん

一時避難プロジェクト」。

新潟県湯沢町が受け入れ

を表明し、希望する乳幼

震災疎開 支援スタート

子どもたち 温泉地で保養を



「商店街同士のネットワークを生かしたい」と話す安井潤一郎さん

震災疎開の運営にはNPO法人「日本アーストエイドソサエティ」(JFAS)も参加し、滞在中は小児科医と保健師が

言葉に力を込める。

(東京都新宿区)相談役の安井潤一郎さん(右)は

理事長で、早稲田商店会

の信頼をモットーにする

商店街の底力を発揮し

て、復興に協力してい

たい」と同実行委員会

の信頼をモットーにする

サポートする。

同プロジェクトのほ

か、秋田県や山形県の温

泉地などでも子どもたち

の震災疎開を計画してい

る。問い合わせは事務局

(090.3218.70

55)。

商店街で募金活動

震災疎開は、長期的な

プロジェクトになるた

め、早稲田商店会など

は「鉄腕アトムをメー

ジキャラクターに募金活

動を展開中だ。早稲田と

隣接する高田馬場は「ア

トム誕生の地」として知

られ、周辺商店街では地

域連貫の「アトム通貫」を

04年から発行している。

現在北海道や仙台、松

山など国内7カ所にあ

り、加盟商店街でも募

金に取り組んでいる。

現在北海道や仙台、松山など国内7カ所にあ

り、加盟商店街でも募

金に取り組んでいる。

現在北海道や仙台、松

山など国内7カ所にあ

り、加盟商店街でも募

金に取り組んでいる。